

審査 設計者

令和 8 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 38-FE320-09-10-10

建設工事名 令和7年災農道花倉25号線災害復旧工事

地区箇所名 建設工事箇所 藤枝市 花倉 地内

建設工事金額

工 期 令和 9 年 1 月 1 5 日限り 週休2日推進工事補正 (週単位(完全週休2日))

建設工事概要	復旧延長	20	m
	コンクリートブロック積工	99	m ²
	コンクリート舗装工	41	m ²
	植生工	210	m ²

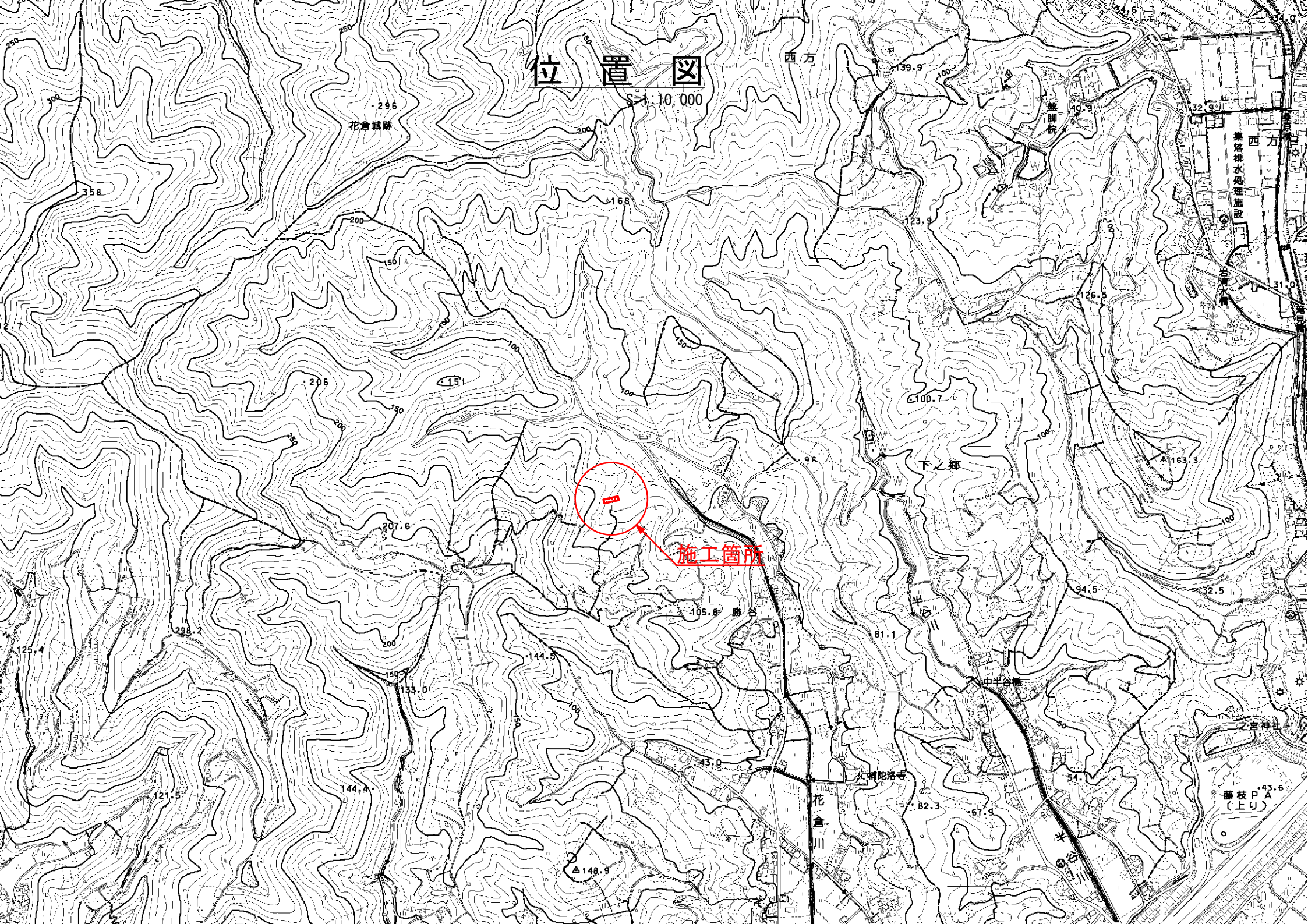
歩掛・単価適用年度 令和 8 年 6 月 基本単価 令和 8 年 6 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図

Scale 1:10,000



請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・ ・ ・ 直接工事費	式			
(4) ・ ・ ・ 間接工事費				
(5) ・ ・ ・ ・ 共通仮設費				
(6) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（積上分）	式			
(7) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（率分）	%			
(8) ・ ・ ・ ・ 現場管理費	%			
(9) ・ 一般管理費等	%			
(1 0) 純工事費				
(1 1) 処分費				
工種区分名称				道路改良工事
地域特性区分				一般交通影響有り (2) - 2
一般管理費等補正				金銭的保証を必要とする

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 道路改良工	式	1			
-- 土工	式	1			
--- 掘削工	式	1			
---- 掘削	式	1			
---- 盛土工	m ³	360			SP 1号表 数量コードC1
---- 路体盛土 発生土流用	式	1			T0124
---- 路床盛土	m ³	30			第 1号表 数量コードM2
---- 法面整形工	m ³	30			T0123 第 2号表 数量コードM1
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 切土法面整形	m ²	200			SP 5号表 数量コードN2
---- 盛土法面整形	m ²	4			SP 6号表 数量コードN3
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	140			SP 7号表 数量コードT1
---- 埋戻し（積込（ルーズ））	m ³	80			発生土流用 SP 3号表 数量コードU1
--- 作業残土処理工	式	1			
---- 残土処分	m ³	372			第 3号表 数量コードZ10 T0001
-- ブロック積工	式	1			
--- ブロック積工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- コンクリートブロック積工	m ²	99			第 4 号表
---- 現場打天端コンクリート	m ³	1			SP 9号表
---- 現場打ち基礎ブロック	m	22			第 5 号表
---- 裏込碎石	m ³	52			SP 11号表
--- 小口止工	式	1			
---- 1号小口止工	箇所	1			第 6 号表
---- 2号小口止工	箇所	1			第 7 号表
---- 3号小口止工	箇所	1			第 8 号表
---- 4号小口止工	箇所	1			第 9 号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 雑工					
	式	1			
---- 1号すり付け工					T0017
	m ²	5			第 10号表
---- 2号すり付け工					T0017
	m ²	11			第 10号表
-- 法面保護工					
	式	1			
--- 植生工					
	式	1			
---- ・客土吹付工 厚1cm 施工規模:100m ² 以上250m ² 未満					
	m ²	210			第 11号表 数量コードN4
-- 道路工					
	式	1			
--- 舗装準備工					
	式	1			
---- 不陸整正					
	m ²	19			SP 17号表 数量コードF1

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 舗装工					
	式	1			
---- コンクリート舗装工					T0021
	m ²	41			第 12号表
---- 舗装擦り付け工					T0128
	m ²	10			第 14号表
---- 目地材					T0125
	箇所	4			第 15号表
-- 構造物撤去工					
	式	1			
--- 構造物取壊し工					
	式	1			
---- 舗装版切断					
	m	5			SP 20号表
---- 構造物とりこわし					
	m ³	5.2			第 16号表
---- 構造物とりこわし					
	m ³	0.4			第 17号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- Co殻処分 無筋コンクリート	m ³	5.2			T0031 第 18号表
---- Co殻処分 有筋コンクリート	m ³	0.4			T0127 第 19号表
-- 仮設工	式	1			
--- 仮設道路 流用土	式	1			
---- 坂路盛土	m ³	2			SP 2号表
---- 坂路掘削	m ³	2			SP 23号表
---- 締切排水工	箇所	1			T0041 第 20号表
直接工事費計					
工種区分 道路改良工事					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費（率） （一般交通影響有り（2）- 2）	式	1			
準備費	式	1			M0002 第 23号表
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 （一般交通影響有り（2）- 2）	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 （金銭的保証を必要とする）	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
請負工事費					

T O 1 2 4					
路体盛土 発生土流用					
第 1号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土・埋戻	m3	10			SP 2号表
積込(ルーズ)	m3	11.1			SP 3号表
計					
単価	m3				

T O 1 2 3		路床盛土				第 2号表	
金 円		10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
路床盛土		m3	10			SP 4号表	
路床材 再生盛土材		m3	12.6				
計							
単価		m3					

T O O O 1					
残土処分					
第 3号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土砂等運搬		m3	100		SP 8号表
発生土処分費 大河原事業（株）川口残土処分場 島田市身成35		m3	120		
計					
単価		m3			

コンクリートブロック積工					
第 4号表					
金 円 1 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリートブロック積工 屋間単価 制約無 機労	m2	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m2	1			
エコ・スプリットン鳳来Ⅱ 積みブロック	m2	1			
生コンクリート（高炉） 18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	m3	0.3			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

コンクリート積ブロックの規格=エコ・スプリットン鳳来Ⅱ, 時間的制約=無し, 夜間作業の有無=無し, 練積・空積の区分=練積, 裏込コンクリートの有無=有, 裏込コンクリート厚=10cm, 生コンクリートの規格=18-8-25（高炉B） W/C 60%以下

T O O 1 2

現場打ち基礎ブロック

第 5号表

金 円 10 m 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場打基礎コンクリート	m3	1. 9			SP 10号表
計					
単価	m				

T O O 1 3

1号小口止工

第 6号表

金 円

1 箇所 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場打小口止コンクリート	m3	1. 2			SP 12号表
計					

T O O 1 4

2号小口止工

第 7号表

金 円		1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場打小口止コンクリート		m3	1. 8			SP 12号表
計						

T O O 1 5		3号小口止工		第 8号表		
金	円	1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場打小口止コンクリート		m 3	0. 7			SP 12号表
コンクリート		m 3	1			SP 13号表
型枠		m 2	0. 8			SP 14号表
計						

T O O 1 6					
4号小口止工					
第 9号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場打小口止コンクリート	m 3	0. 6			SP 12号表
コンクリート	m 3	0. 8			SP 13号表
型枠	m 2	0. 7			SP 14号表
計					

T O O 1 7					
練石積すり付け工					
第 10号表					
金 円 10 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
石積工	m2	10			SP 15号表
玉石 径30cm内外	m2	10			
胴込・裏込コンクリート(石積(張)工)	m3	1.2			SP 16号表
計					
単価	m2				

・客土吹付工
厚1cm 施工規模：100m2以上250m2未満

第 11号表

金 円 1 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
法面工（植生工） 客土吹付工厚、1cm	m2	1			1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔加算率：S〕 100m2以上250m2未満	%				
補正後市場単価	m2	1			
計（合計金額対象外を除く）					

1, #等：諸経費等対象額

規格区分=厚1cm, 施工規模=100m2以上250m2未満, 時間制約を受ける場合の補正=無

コンクリート舗装工（人力施工） 曲げ強度4.5N/mm ² 粗骨材40mm 舗装厚：12cm 割増：あり					
第 13号表					
金 円 100 m ² 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
生コンクリート 曲げ強度4.5N/mm ² 粗骨材40mm	m ³	12.72			
生コンクリート小型割増	m ³	12.72			
土木一般世話役	人				1
特殊作業員	人				1
普通作業員	人				1
雑 品	%				
計					
単価	m ²				

1, #等：諸経費等対象額

生コンクリート規格=曲げ強度4.5N/mm²粗骨材40mm, 舗装厚=12cm, 生コン小型車割増=あり

T O 1 2 8 舗装標り付け工					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート舗装工 (人力施工) 曲げ強度4.5N/mm ² 粗骨材40mm 舗装厚:12cm 割増:あり	m ²	100			第 13号表
上層路盤 (車道・路肩部)	m ²	100			SP 18号表
不陸整正	m ²	100			SP 17号表
計					
単価	m ²				

T O 1 2 5		目地材				第 15号表	
金 円		10 箇所 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
目地板		m 2	2			SP 19号表	
注入目地材		k g	18. 7				
計							
単価		箇所					

構造物とりこわし

第 16号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 屋間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

構造物区分=無筋構造物, 工法区分=機械施工（大型ブレーカまたは、コンクリート圧碎機）, 時間的制約=無し, 作業時間=屋間, 低騒音・低振動対策=不要

構造物とりこわし

第 17号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 屋間単価 制約無 機械 機労		m3	1		
〔補正係数：週休2日補正〕		X			
補正後標準単価		m3	1		
計（合計金額対象外は除く）					

標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕

1

1, #等:諸経費等対象額

構造物区分=鉄筋構造物, 工法区分=機械施工（大型ブレーカまたは、コンクリート圧碎機）, 時間的制約=無し, 作業時間=屋間, 低騒音・低振動対策=不要

T O O 3 1					
Co殻処分 無筋コンクリート					
第 18号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
殻運搬		m3	100		
処分費 Co無筋		t	235		
計					
単価		m3			

T O 1 2 7					
Co殻処分 有筋コンクリート					
第 19号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
殻運搬		m3	100		
処分費 Co有筋		m3	100		
計					
単価		m3			

T O O 4 1		締切排水工				第 20号表	
金 円		1 箇所 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
水替工 (小口径ポンプ運転) 作業時排水 7以上30未満 (m3/h)		箇所	1			第 21号表	
排水ポンプ設置・撤去工 (小口径) 口径100mm		箇所	1			第 22号表	
計							

水替工 (小口径ポンプ運転)
作業時排水 7以上30未満 (m3/h) 第 21号表

金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
土木一般世話役					1
		人			
普通作業員					1
		人			
発動発電機 運転 ディーゼルエンジン駆動 15kVA 排出ガス対策型 (第3次)					1
		日			
諸 雑 費					
		%			
計					

1, #等:諸経費等対象額

排水方法=作業時排水, 排水量区分=7以上 30未満 (m3/h), 運転日数=21日

排水ポンプ設置・撤去工（小口径） 口径100mm						第 22号表
金 円		1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員						
バックホウ運転 クローラ型クレーン付 山積0.8m3（平積0.6m3）2.9t吊 排出ガス対策型（第2次）		日				
計						

1, #等:諸経費等対象額

M O O O 2

準備費

第 23号表

金 円 1 式 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
伐採処理工					M0001
	式	1			第 24号表
計					
単価					
	式				

MOOO1伐採処理工						第 24号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
人力刈払工 チェーンソー 樹木 0から40本・m/10a		ha	0.02			第 25号表
除根 (伐木除根)		m2	210			SP 24号表
集積工		ha	0.02			第 26号表
運搬 (伐開・除根・除草) 4t積級 9.0km以下		空m3	9			10t積級にて流用 第 27号表
処分費 幹		m3	5.8			(株)ｷｬﾝﾊﾟﾝｼﾞ工場 藤枝市瀬字泉堂395-3
処分費 根		m3	2.3			(株)ｷｬﾝﾊﾟﾝｼﾞ工場 藤枝市瀬字泉堂395-3
計						

金 円 1 ha 当り 人力刈払工 チェンソー 樹木 0から40本・m/10a 第 25号表					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
特殊作業員					1
	人				
諸 雑 費					
	%				
計					

1, #等:諸経費等対象額

使用機械=チェンソー, 樹量区分=0から 40本・m/10a

集積工

第 26号表

集積工

第 26号表

金 円 1 ha 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
掘み装置付バックホウ 運転 開口幅1700-2000mm爪幅400-750mm	h				
計					

運搬（伐開・除根・除草） 9.0 km以下					
第 27号表					
金 円 100 空m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転 10 t 積級	日				
計					
単価	空m3				

1, #等:諸経費等対象額

運搬距離=L=8 km, タイヤ消耗費=良好

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
掘削	土質＝土砂（砂・砂質土）， 施工方法＝片切掘削	SP 1号表
路体（築堤）盛土・埋戻	施工幅員＝2．5 m以上4．0 m未満	SP 2号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂（砂・砂質土）， 作業内容＝小規模（標準）	SP 3号表
路床盛土	施工幅員＝2．5 m以上4．0 m未満	SP 4号表
法面整形	整形箇所＝切土部， 現場制約の有無＝無し， 土質＝レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	SP 5号表
法面整形	整形箇所＝盛土部， 法面締固めの有無＝無し， 現場制約の有無＝無し， 土質＝レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	SP 6号表
床掘り	土質＝土砂（砂・砂質土）， 施工方法＝上記以外（小規模）	SP 7号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模， 積込機種・規格＝バックホウ山積0．28 m ³ （平積0．2 m ³ ）， 土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む）， D I D区間の有無＝有り， 運搬距離＝27．0 km以下	SP 8号表
現場打天端コンクリート	生コンクリート規格＝コンクリート規格 選択， 養生工の種類＝一般養生 &コンクリート規格＝18 - 8 - 25（20） - B B W / C 60％以下	SP 9号表
現場打基礎コンクリート	生コンクリート＝コンクリート規格 選択， 基礎碎石の有無＝有り， 養生工の種類＝一般養生・特殊養生（練炭） &コンクリート規格＝18 - 5 - 40 - B B W / C 60％以下	SP 10号表
裏込碎石	裏込碎石＝裏込碎石 &碎石規格＝再生クラッシャーラン（RC - 40）	SP 11号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
現場打小口止コンクリート	生コンクリート＝コンクリート規格 選択, 養生工の種類＝一般養生 &コンクリート規格＝18-8-40-BB W/C 60%以下	SP 12号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物, 打設工法＝バックホウ（クレーン機能付）打設, コンクリート規格＝コンクリート規格 選択, 養生工の種類＝一般養生 &コンクリート規格＝18-8-40-BB	SP 13号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠, 構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 14号表
石積（張）	積張の区分＝積工, 構造区分＝練石, 石の種類＝玉石	SP 15号表
胴込・裏込コンクリート（石積（張）工）	積張の区分＝積工, 胴込・裏込コンクリート規格＝胴込・裏込コンクリート規格 選択 &胴込・裏込コンクリート規格（標準値A＝1）＝18-8-25（20）-BB W/C 60%以下	SP 16号表
不陸整正	補足材料の有無＝無し	SP 17号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択, 施工区分＝1層施工 ＊全仕上り厚＝150mm, &路盤材規格＝粒度調整碎石（M-30）	SP 18号表
目地板	1工事当り使用量＝30m ² 未満, 目地板＝目地板 選択 &目地板規格＝瀝青質板 20mm	SP 19号表
舗装版切断	舗装版種別＝コンクリート舗装版, コンクリート舗装版厚＝15cm以下	SP 20号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（無筋）構造物とりこわし, 積込工法区分＝機械積込, DID区間の有無＝有り, 運搬距離（km）＝ 14.4km以下	SP 21号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表		
名 称	内 容	
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝1 4．4 k m以下	SP 2 2 号表
掘削	土質＝土砂（砂・砂質土），施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準以外	SP 2 3 号表
除根（伐木除根）	除根（伐木除根）＝除根（伐木除根）	SP 2 4 号表

土工 (花倉25号線)				数量計算表							測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m) コメント				C1 掘削			M1 路床盛土			M2 路体盛土			
				数 量	平均値	立積 (O 1)	数 量	平均値	立積 (O 1)	数 量	平均値	立積 (O 1)	
0	+6.50	0.00	対岸切土起点 BP	0.00			0.00			0.00			
0	+8.00	1.50		2.80	1.400	2.100	0.00			0.20	0.100	0.150	
0	+10.70	2.70		1.00	1.900	5.130	0.40	0.200	0.540	0.20	0.200	0.540	
0	+11.50	0.80		1.00	1.000	0.800	0.40	0.400	0.320	0.20	0.200	0.160	
0	+11.50	0.00	BC2 SP2 EC2	1.00	1.000		1.60	1.000		0.70	0.450		
0	+17.31	5.81		9.90	5.450	31.660	2.70	2.150	12.490	4.00	2.350	13.650	
0	+19.26	1.95		20.60	15.250	29.740	2.90	2.800	5.460	3.00	3.500	6.830	
1	+1.21	1.95		24.00	22.300	43.490	2.40	2.650	5.170	2.20	2.600	5.070	
1	+4.32	3.11	BC3	20.40	22.200	69.040	1.10	1.750	5.440	1.00	1.600	4.980	
1	+4.32	0.00	BC3	20.40	20.400		1.10	1.100		1.00	1.000		
1	+8.00	3.68		9.60	15.000	55.200	0.00	0.550	2.020	0.10	0.550	2.020	
1	+10.30	2.30	EP	9.60	9.600	22.080	0.00			0.00	0.050	0.120	
1	+11.50	1.20	すり付け終点	4.20	6.900	8.280	0.00			0.00			
1	+12.94	1.44		0.00	2.100	3.020	0.00			0.00			
合 計 26.44				(C1)			270.540	(M1)		31.440	(M2)		33.520
曲 率 更 正							89.11			-0.24			0.17
計							359.650			31.200			33.690

土工 (花倉25号線)				数量計算表									測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m) コメント				N2 切土法面整形			N3 盛土法面整形			N4 客土吹付					
				数 量	平均値	面積 (O 1)	数 量	平均値	面積 (O 1)	数 量	平均値	面積 (O 1)			
0	+6.50	0.00	対岸切土起点	0.00			0.00			0.00					
0	+8.00	1.50		4.70	2.400	3.600	0.00			4.70	2.400	3.600			
0	+10.70	2.70	BP	0.10	2.400	6.500	0.00			0.00	2.400	6.500			
0	+11.50	0.80		0.10	0.100	0.100	0.00			0.00					
0	+11.50	0.00		0.10	0.100		0.00			0.00					
0	+17.31	5.81	BC2	5.00	2.600	15.100	0.00			5.00	2.500	14.500			
0	+19.26	1.95	SP2	8.00	6.500	12.700	0.00			9.00	7.000	13.700			
1	+1.21	1.95	EC2	9.90	9.000	17.600	0.30	0.200	0.400	10.90	10.000	19.500			
1	+4.32	3.11	BC3	9.40	9.700	30.200	0.10	0.200	0.600	10.40	10.700	33.300			
1	+4.32	0.00	BC3	9.40	9.400		0.10	0.100		10.40	10.400				
1	+8.00	3.68		6.80	8.100	29.800	0.50	0.300	1.100	6.80	8.600	31.600			
1	+10.30	2.30	EP	6.80	6.800	15.600	0.50	0.500	1.200	6.80	6.800	15.600			
1	+11.50	1.20		0.00	3.400	4.100	0.40	0.500	0.600	0.00	3.400	4.100			
1	+12.94	1.44	すり付け終点	0.00			0.00	0.200	0.300	0.00					
合 計 26.44					(N2)	135.300		(N3)	4.200		(N4)	142.400			
曲 率 更 正						62.39			-0.51			66.27			
計						197.700			3.700			208.700			

土工 (花倉25号線)				数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント				F1 不陸整生				
				数 量	平均値	面積 (02)		
0	+6.50	0.00	対岸切土起点	0.00				
0	+8.00	1.50		0.00				
0	+10.70	2.70	BP	1.30	0.700	1.900		
0	+11.50	0.80		1.30	1.300	1.000		
0	+11.50	0.00		0.20	0.800			
0	+17.31	5.81	BC2	0.00	0.100	0.600		
0	+19.26	1.95	SP2	0.00				
1	+1.21	1.95	EC2	0.00				
1	+4.32	3.11	BC3	0.80	0.400	1.200		
1	+4.32	0.00	BC3	0.80	0.800			
1	+8.00	3.68		1.90	1.400	5.200		
1	+10.30	2.30	EP	2.20	2.100	4.800		
1	+11.50	1.20		2.20	2.200	2.600		
1	+12.94	1.44	すり付け終点	0.00	1.100	1.600		
合 計 26.44					(F1)	18.900		
曲 率 更 正						-0.2		
計						18.700		

作業土工（花倉25号線）				数量計算表						測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント				T1 床掘			U1 埋戻				
				数 量	平均値	立積（O 1）	数 量	平均値	立積（O 1）		
0	+6.50	0.00	対岸切土起点	0.00			0.00				
0	+8.00	1.50		0.00			0.00				
0	+10.70	2.70	BP	3.50	1.800	4.900	1.60	0.800	2.200		
0	+11.50	0.80		3.50	3.500	2.800	1.60	1.600	1.300		
0	+11.50	0.00	BC2	3.30	3.400		1.60	1.600			
0	+17.31	5.81		8.10	5.700	33.100	4.60	3.100	18.000		
0	+19.26	1.95		3.70	5.900	11.500	1.90	3.300	6.400		
1	+1.21	1.95		5.50	4.600	9.000	3.00	2.500	4.900		
1	+4.32	3.11		8.30	6.900	21.500	4.70	3.900	12.100		
1	+4.32	0.00	BC3	2.90	5.600		1.40	3.100			
1	+8.00	3.68		5.80	4.400	16.200	3.60	2.500	9.200		
1	+10.30	2.30	EP	5.80	5.800	13.300	3.60	3.600	8.300		
1	+11.50	1.20		2.70	4.300	5.200	1.60	2.600	3.100		
1	+12.94	1.44	すり付け終点	0.00	1.400	2.000	0.00	0.800	1.200		
合 計	26.44				(T1)	119.500		(U1)	66.700		
曲 率 更 正						17.16			11.42		
計						136.700			78.100		

土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(C1 ・ 掘削)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	立積 (O 1)				
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+8. 00	2. 80			0. 00	0. 0		
	0	+10. 70	1. 00			0. 00	0. 0		
	0	+11. 50	1. 00			0. 00	0. 0		
開始	0	+11. 50	1. 00			0. 00	0. 0		
	0	+17. 31	9. 90			11. 00	6. 1		
	0	+19. 26	1. 95	20. 60	15. 250	29. 740	11. 00	5. 9	0. 545
終了	1	+1. 21	24. 00	22. 300	43. 490	11. 00	6. 9	0. 582	25. 31
開始	1	+4. 32	20. 40			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	20. 40			11. 00	7. 3		
	1	+8. 00	9. 60	15. 000	55. 200	11. 00	5. 7	0. 591	32. 62
	1	+10. 30	9. 60	9. 600	22. 080	11. 00	5. 7	0. 518	11. 44
終了	1	+11. 50	4. 20	6. 900	8. 280	11. 00	2. 7	0. 382	3. 16
	1	+12. 94	0. 00	2. 100	3. 020	11. 00	0. 0	0. 123	0. 37
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(161. 810)					(C1)	89. 11

土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m							
曲率更正計算表										
測点	中間点	距離(m)	(M1 ・ 路床盛土)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R	
			数 量	平均値	立積 (O 1)					
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+8. 00	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+10. 70	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0			
開始	0	+11. 50	1. 60			0. 00	0. 0			
	0	+17. 31	0. 00			11. 00	-0. 3			
	0	+19. 26	1. 95	2. 90	2. 800	5. 460	11. 00	-0. 4	-0. 032	-0. 17
終了	1	+1. 21	1. 95	2. 40	2. 650	5. 170	11. 00	-0. 1	-0. 023	-0. 12
開始	1	+4. 32	0. 00	1. 10			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	0. 00	1. 10			11. 00	0. 5		
	1	+8. 00	3. 68	0. 00	0. 550	2. 020	11. 00	0. 0	0. 023	0. 05
	1	+10. 30	2. 30	0. 00			11. 00	0. 0		
終了	1	+11. 50	1. 20	0. 00			11. 00	0. 0		
	1	+12. 94	1. 44	0. 00			11. 00	0. 0		
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(12. 650)					(M1)	-0. 24	

(38-FE320-09-10-10-20-00)

産業振興部農林基盤整備課

土工 (花倉25号線)

測点間距離 20 m

曲率更正計算表

測点	中間点	距離(m)	(M2 ・ 路面盛土)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	立積 (O 1)				
0	+6.50	0.00	0.00			0.00	0.0		
0	+8.00	0.00	0.20			0.00	0.0		
0	+10.70	0.00	0.20			0.00	0.0		
0	+11.50	0.00	0.20			0.00	0.0		
開始	0	+11.50	0.70			0.00	0.0		
	0	+17.31	4.00			11.00	0.1		
	0	+19.26	3.00	3.500	6.830	11.00	0.2	0.014	0.10
終了	1	+1.21	2.20	2.600	5.070	11.00	0.4	0.027	0.14
開始	1	+4.32	1.00			0.00	0.0		
	1	+4.32	1.00			11.00	1.0		
	1	+8.00	0.10	0.550	2.020	11.00	-1.5	-0.023	-0.05
	1	+10.30	0.00	0.050	0.120	11.00	-1.5	-0.136	-0.02
終了	1	+11.50	0.00			11.00	0.0	-0.068	
	1	+12.94	0.00			11.00	0.0		
曲 率 更 正 計 (12.52)			(14.040)					(M2)	0.17

土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(N2 切土法面整形)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	面積 (O 1)				
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+8. 00	4. 70			0. 00	0. 0		
	0	+10. 70	0. 10			0. 00	0. 0		
	0	+11. 50	0. 10			0. 00	0. 0		
開始	0	+11. 50	0. 10			0. 00	0. 0		
	0	+17. 31	5. 00			11. 00	7. 6		
	0	+19. 26	1. 95	8. 00	6. 500	12. 700	11. 00	9. 2	0. 764
終了	1	+1. 21	9. 90	9. 000	17. 600	11. 00	9. 9	0. 868	15. 28
開始	1	+4. 32	9. 40			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	9. 40			11. 00	9. 7		
	1	+8. 00	6. 80	8. 100	29. 800	11. 00	8. 2	0. 814	24. 26
	1	+10. 30	6. 80	6. 800	15. 600	11. 00	8. 2	0. 745	11. 62
終了	1	+11. 50	0. 00	3. 400	4. 100	11. 00	0. 0	0. 373	1. 53
	1	+12. 94	0. 00			11. 00	0. 0		
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(79. 800)					(N2)	62. 39

土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(N3 盛土法面整形)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	面積 (O 1)				
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+8. 00	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+10. 70	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
開始	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+17. 31	0. 00			11. 00	0. 0		
	0	+19. 26	1. 95	0. 00		11. 00	0. 0		
終了	1	+1. 21	0. 30	0. 200	0. 400	11. 00	-1. 7	-0. 077	-0. 03
開始	1	+4. 32	0. 10			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	0. 10			11. 00	-1. 6		
	1	+8. 00	0. 50	0. 300	1. 100	11. 00	-1. 8	-0. 155	-0. 17
	1	+10. 30	0. 50	0. 500	1. 200	11. 00	-1. 8	-0. 164	-0. 20
終了	1	+11. 50	0. 40	0. 500	0. 600	11. 00	-1. 5	-0. 150	-0. 09
	1	+12. 94	0. 00	0. 200	0. 300	11. 00	0. 0	-0. 068	-0. 02
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(3. 600)					(N3)	-0. 51

土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(N4 ・ 客土吹付)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	面積 (O 1)				
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+8. 00	4. 70			0. 00	0. 0		
	0	+10. 70	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
開始	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0		
	0	+17. 31	5. 00			11. 00	7. 6		
	0	+19. 26	1. 95	9. 00	7. 000	13. 700	11. 00	9. 2	0. 764
終了	1	+1. 21	10. 90	10. 000	19. 500	11. 00	9. 9	0. 868	16. 93
開始	1	+4. 32	10. 40			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	10. 40			11. 00	9. 7		
	1	+8. 00	6. 80	8. 600	31. 600	11. 00	8. 2	0. 814	25. 72
	1	+10. 30	2. 30	6. 80	6. 800	15. 600	11. 00	8. 2	0. 745
終了	1	+11. 50	0. 00	3. 400	4. 100	11. 00	0. 0	0. 373	1. 53
	1	+12. 94	0. 00			11. 00	0. 0		
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(84. 500)					(N4)	66. 27

(38-FE320-09-10-10-20-00)

産業振興部農林基盤整備課

土工 (花倉25号線)

測点間距離 20 m

曲率更正計算表

測点	中間点	距離(m)	(F1 ・ 不陸整生)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均值	面積 (O 2)				
0	+6. 50	0. 00	0. 00			0. 00	0. 0		
0	+8. 00	0. 00	0. 00			0. 00	0. 0		
0	+10. 70	0. 00	1. 30			0. 00	0. 0		
0	+11. 50	0. 00	1. 30			0. 00	0. 0		
開始	0	+11. 50	0. 20			0. 00	0. 0		
	0	+17. 31	0. 00			11. 00	0. 0		
	0	+19. 26	1. 95			11. 00	0. 0		
終了	1	+1. 21	0. 00			11. 00	0. 0		
開始	1	+4. 32	0. 80			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	0. 80			11. 00	-0. 6		
	1	+8. 00	1. 90	1. 400	5. 200	11. 00	-0. 1	-0. 032	-0. 17
	1	+10. 30	2. 20	2. 100	4. 800	11. 00	-0. 1	-0. 009	-0. 04
終了	1	+11. 50	2. 20	2. 200	2. 600	11. 00	0. 1		
	1	+12. 94	0. 00	1. 100	1. 600	11. 00	0. 1	0. 009	0. 01
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(14. 200)					(F1)	-0. 20

作業土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m							
曲率更正計算表										
測点	中間点	距離(m)	(T1 ・ 床掘)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R	
			数 量	平均值	立積 (O 1)					
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+8. 00	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+10. 70	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+11. 50	0. 00			0. 00	0. 0			
開始	0	+11. 50	3. 30			0. 00	0. 0			
	0	+17. 31	8. 10			11. 00	3. 7			
	0	+19. 26	1. 95	3. 70	5. 900	11. 500	11. 00	3. 1	0. 309	3. 55
終了	1	+1. 21	1. 95	5. 50	4. 600	9. 000	11. 00	3. 4	0. 295	2. 66
開始	1	+4. 32	0. 00	8. 30			0. 00	0. 0		
	1	+4. 32	0. 00	2. 90			11. 00	3. 0		
	1	+8. 00	3. 68	5. 80	4. 400	16. 200	11. 00	3. 5	0. 295	4. 78
	1	+10. 30	2. 30	5. 80	5. 800	13. 300	11. 00	3. 5	0. 318	4. 23
終了	1	+11. 50	1. 20	2. 70	4. 300	5. 200	11. 00	3. 4	0. 314	1. 63
	1	+12. 94	1. 44	0. 00	1. 400	2. 000	11. 00	0. 0	0. 155	0. 31
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(57. 200)					(T1)	17. 16	

作業土工 (花倉25号線)			測点間距離 20 m							
曲率更正計算表										
測点	中間点	距離(m)	(U1 埋戻)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R	
			数 量	平均値	立積 (O 1)					
	0	+6. 50	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+8. 00	0. 00			0. 00	0. 0			
	0	+10. 70	1. 60			0. 00	0. 0			
	0	+11. 50	1. 60			0. 00	0. 0			
開始	0	+11. 50	1. 60			0. 00	0. 0			
	0	+17. 31	4. 60			11. 00	4. 3			
	0	+19. 26	1. 95	1. 90	3. 300	6. 400	11. 00	3. 7	0. 364	2. 33
終了	1	+1. 21	3. 00	2. 500	4. 900	11. 00	4. 0	0. 350	1. 72	
開始	1	+4. 32	4. 70			0. 00	0. 0			
	1	+4. 32	1. 40			11. 00	3. 0			
	1	+8. 00	3. 68	3. 60	2. 500	9. 200	11. 00	4. 1	0. 323	2. 97
	1	+10. 30	2. 30	3. 60	3. 600	8. 300	11. 00	4. 1	0. 373	3. 10
終了	1	+11. 50	1. 60	2. 600	3. 100	11. 00	3. 7	0. 355	1. 10	
	1	+12. 94	1. 44	0. 00	0. 800	1. 200	11. 00	0. 0	0. 168	0. 20
曲 率 更 正 計 (12. 52)			(33. 100)				(U1)	11. 42		

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
仮設残土	Z 1 1 (2 1)	= 3 * 0.7 = 2.100	

残土処分			
土 量 調 整 表			
発生土登録表 発生土 変化率	**（発生土→埋戻土→盛土）流用表** 発生土 - - - - 流用順位 - - - -	**残土処理場指定表** 発生土 処理順位	**残土処理容量指定**
C1 360 0.90	C1 1 番目 M2 機械 360 → 34	C1 1 番目 Z10 360 → 322	Z10 99,999
T1 137 0.90	T1 1 番目 U1 機械 137 → 78	T1 1 番目 Z10 137 → 50	
			残土量合計 Z10 372
	盛土内訳指定表 盛 土 流用土 不足土 M2 R99 F99 34 = 34 + 0		
	U1 R98 F98 78 = 78 + 0		

藤枝市週休 2 日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第 1 条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休 2 日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第 2 条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6 日間）、夏季休暇（3 日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め 1 日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を 4 週 8 休以上とする。
- (4) 週休 2 日 対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休 2 日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、1 週間に 2 日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休 2 日 対象期間の全ての月において、週休 2 日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休 2 日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第 3 条 週休 2 日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休 2 日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第 4 条 週休 2 日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

遠隔臨場の実施に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等により映像及び音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことをいう。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、所定の日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場で確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

（機材等の手配・仕様）

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書

(適用)

第1条 本特記仕様書は、受注者が熱中症対策に資する現場管理費率の補正を希望する場合に、受発注者間協議により適用することができる。

(用語の定義)

第2条 この特記仕様書における用語の定義は次のとおりとする。

- (1) 真夏日 日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
- (2) 工期 工事着手日から工事完了日前の受発注者間で協議した日までの期間をいう。ただし、当該機関に年末年始を含む工事では年末年始休暇分として6日間、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- (3) 真夏日率 工事着手日から工事完了日までの期間（以下「工事期間」という）中の真夏日を工期で除した割合をいう。なお、真夏日率の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

※小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。

- (4) 補正值 真夏日率に補正係数を乗じた値をいう。なお、補正值の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】補正值（％）＝真夏日率×補正係数

※補正係数は1.2とする。

※真夏日率及び補正值は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点第2位止めとする。

(気温の計測方法等)

第3条 受注者は工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。なお、気温の計測方法は次のとおりとする。

- (1) 計測方法 工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温、又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上になる日を真夏日と見なす。なお、施工箇所が点在する工事へ適用する場合は、主工事の施工箇所の最寄りの地域気象観測所の気温を用いる。

ただし、森林工事においては工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温のみを適用することとする。また、これによりがたい場合は、あらかじめ監督員と協議の上、最寄りの気象庁の地域気象観測所、気象業務法（昭和27年法律第165号）に

基づき気象庁以外の者が行う気温の計測結果又は工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法で得られた気温の計測結果を用いることもできる。

なお、計測資料の取得又は計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。

- (2) 気温の補正方法 気温の補正は森林工事のみに適用するものとし、(1)で得られた気温の計測結果(工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を除く。)は、次の算定式により補正を行うものとする。ただし、気象条件又は現場条件によりがたい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

【算定式】補正後の気温(℃)＝気温(℃)－標高差(m)×0.6/100(m)

※補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとする。

ただし、標高差(m)＝工事現場の標高(m)－計測箇所の標高(m)」

(気温計の設置高さがわかる場合は、計測箇所の標高に加算すること)

※標高差の値は、小数点第1位四捨五入整数止めとする。

(計測結果の報告方法)

第4条 計測結果の報告方法は次のとおりとする。

受注者は監督員と事前に協議した提出期日までに真夏日率及び補正值を算出し、真夏日率等算定表(第1号様式)を発注者に提出するものとする。

真夏日率等算定表

工事名：

受注者：

現場代理人：

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書に基づき、真夏日率等を下記の通り算出したので、提出します。

項目	細目	数量	単位	備考
工期：	工事着手日			
	計測完了日			
	工事中止期間等		日	年末年始6日、夏季休暇3日 工場製作、全面中止期間等
	工期		日	①
真夏日（暑さ指数）：			日	② 算出根拠から自動出力
真夏日率：				=真夏日②÷工期①
補正值：			%	=真夏日率×1.2

※黄色ハッチ部を記入
※マニュアルを参照すること
※自動で出力される値は参考である。

法面保護工の植生工に関する特記仕様書

1 目的及び適用

本特記仕様書は、本工事の法面保護工における植生工について、施工後の生育判定に関し必要な事項を定めるものであり、本特記仕様書に定めがない事項については、農林土木共通仕様書（平成 21 年静岡県告示第 236 号）によるほか、関係法規、指針等に基づくものとする。

2 生育判定の実施

本工事は、法面保護工等の植生工施工後に、別添要領に基づく生育判定を実施する。

ただし、林道工事は土地改良工事に、林道事業担当課長は農林基盤整備課長に読み替えるものとする。

3 その他

本特記仕様書の内容に疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

植生工生育判定実施要領

制定 平成 20 年 1 月 22 日

改正 平成 22 年 3 月 4 日

1 目的及び適用

本要領は、林道工事の法面保護工における植生工（再施工を含む）について、施工後の生育判定に関し必要な事項を定めるものである。

2 生育判定

(1) 生育判定の目安

施工後の生育判定は、下表を目安として行うものとする。

評 価	判 定 時 の 植 生 状 態
A	植被率が 70%以上である。
B	植被率が 70%以下である。
判定保留	植被率は 70%程度以下であるが、生育が遅く、今後、吹付材料による植被率の向上が見込める。

※ 施工後に異常気象があった場合等はこの限りではない。

出典根拠：「道路土工のり面工・斜面安定工指針」（（財）日本道路協会）の一部

(2) 生育判定の時期

生育判定の時期は下表を目安として行うものとする。

施 工 時 期		判 定 時 期
春 期	3～5 月	施工後 90 日
夏 期	6～8 月	10 月～11 月中旬
秋 期	9～10 月	翌年 6 月初旬
冬 期	11～2 月	翌年 7 月初旬

(3) 事務処理手順

ア 請負者調査

請負者は、植生工を施工した全箇所について、2 に定める生育判定を実施し、別記調査表を作成し状況写真とあわせて発注者に提出する。

イ 発注者調査

発注者は、請負者から調査表が提出されたら直ちに調査を実施することとし、調査は、請負者の立会いのもと、原則として林道事業担当課長が行うものとする。

この際、第2回以降の請負者の立会は、必要に応じて求めるものとする。

林道事業担当課長以外が調査を実施した場合は、林道事業担当課長が確認を行うものとする。

現地調査は必須とし、箇所を選定にあたっては、請負者調査の結果から植被率を考慮して調査箇所を決定する。

調査結果は別記調査表に記入し、評価「判定保留」の箇所がある場合は、「A」または「B」と評価されるまで継続して調査を実施することとし、1年以内に判定を決定する。

ウ 調査結果の保存

調査表は、工事関係書類とともに保存する。

別記

植 生 工 の 成 育 状 況 調 査 表											確認者 職氏名	印	
工事名				請負者							特 記 事 項		
調 査 日	①請負者調査	令和	年	月	日	請負者調査者 氏名		印					
	②発注者調査(第1回)	令和	年	月	日	発注者調査者 職氏名		印					
						請負者調査者 氏名		印					
	③発注者調査(第2回)	令和	年	月	日	発注者調査者 職氏名		印					
						請負者調査者 氏名		印					
	④発注者調査(第3回)	令和	年	月	日	発注者調査者 職氏名		印					
						請負者調査者 氏名		印					
	法面 No.	工 種	施工日			①		②		③			④
					植被率(%)	評 価	植被率(%)	評 価	植被率(%)	評 価	植被率(%)	評 価	
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								
		令和	年	月	日								

※留意事: 1 調査は施工した法面単位(工法、種類、法面の形状等によって適宜判断する。)に行う。
2 工程欄には、種子吹付工、客土吹付工(厚さ)、厚層吹付工(厚さ)等を記入する。
3 植被率は目視により10%単位に判断する。(植被率:地山または盛土における土砂面が、緑化によって覆われている率)
4 判定は要領2に基づき行う。
5 特記事項には、必要に応じて異常気象の有無や獣害の有無のほか、判定につながる事項を記入する。
6 請負者調査は、当該工事の現場代理人または主任技術者等が行う。

地下埋設物調査					
地 下 埋 設 物 調 査 書 (令 和 7 年 災 農 道 花 倉 25 号 線 災 害 復 旧 工 事)					
埋 設 物	埋 設 状 況			管 理 者	
	縦 方 向	横 方 向	特 殊 箇 所	市	管理側
水 道 管	なし			望月	上水道課 小杉
ガ ス 管	なし			望月	東海ガス (株) 紅林
大井川広域水道企業団	管理図により無いことを確認した。			望月	
大井川土地改良区	管理図により無いことを確認した。			望月	
N T T ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。			望月	NDS(株)
中部電力ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。			望月	中部電力パワーグリッド (株)
下水道管	管理図により無いことを確認した。			望月	
